



## システムの詳細の表示

- [VM ホスト メトリックのモニタリング \(1 ページ\)](#)
- [アプリケーション管理詳細の表示 \(5 ページ\)](#)
- [クラウドリソースの詳細の表示 \(6 ページ\)](#)
- [操作の詳細の表示 \(8 ページ\)](#)
- [インフラストラクチャの詳細の表示 \(11 ページ\)](#)
- [管理の詳細の表示 \(11 ページ\)](#)
- [Cisco Cloud Network Controller GUI を使用したヘルス詳細の表示 \(13 ページ\)](#)

## VM ホスト メトリックのモニタリング

Prometheus ノード エクスポートアを使用して Cisco クラウド ネットワーク コントローラが導入されている VM ホストのメトリックのモニタリングがサポートされます。Prometheus Node Exporter は、さまざまなハードウェアおよびカーネル関連のメトリックを可視化し、Linux ノードから CPU、ディスク、メモリの統計情報などの技術情報を収集します。Prometheus ノード エクスポートアの概要については、以下を参照してください。

<https://prometheus.io/docs/introduction/overview/>

Cisco Cloud ネットワーク コントローラがリリース 25.0(1)以降で実行されている場合、Prometheus Node Exporter はデフォルトで自動的に使用可能になります。

### 注意事項と制約事項

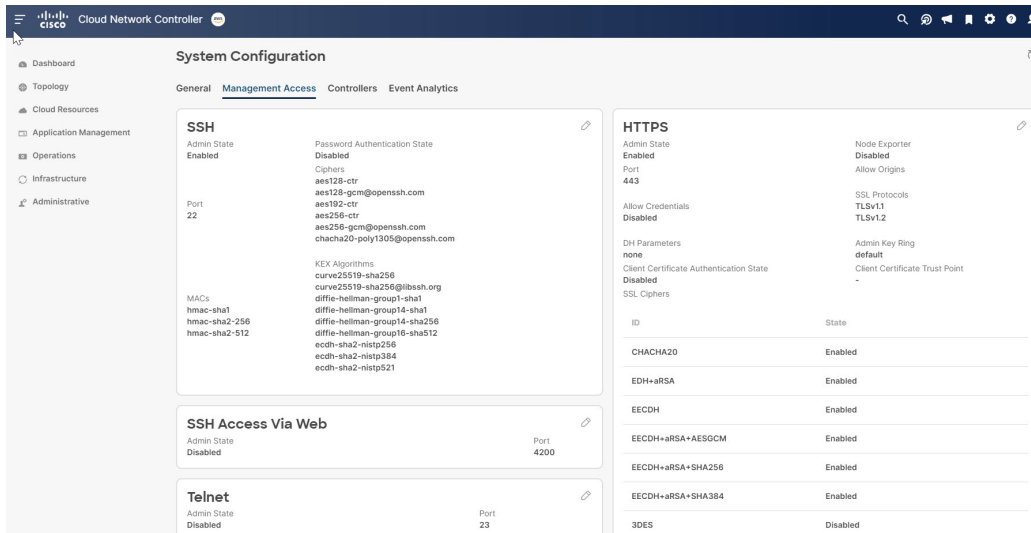
HTTP は、Prometheus Node Exporter を使用したモニタリングメトリックではサポートされていません。Prometheus Node Exporter を使用したメトリックのモニタリングでは、HTTPS のみがサポートされます。

## GUI を使用した VM ホストメトリックのモニタリング

次の手順では、GUI を使用して Prometheus Node Exporter で VM ホストメトリックをモニタできるようにする方法について説明します。

ステップ 1 Cisco Cloud Network Controller GUI で、[インフラストラクチャ (Infrastructure)] > [システム構成 (System Configuration)] に移動し、[管理アクセス (Management Access)] タブをクリックします。

ステップ 2 ウィンドウの右側の [HTTPS] 領域で、[ノード エクスポート (Node Exporter)] フィールドのエントリを確認します。

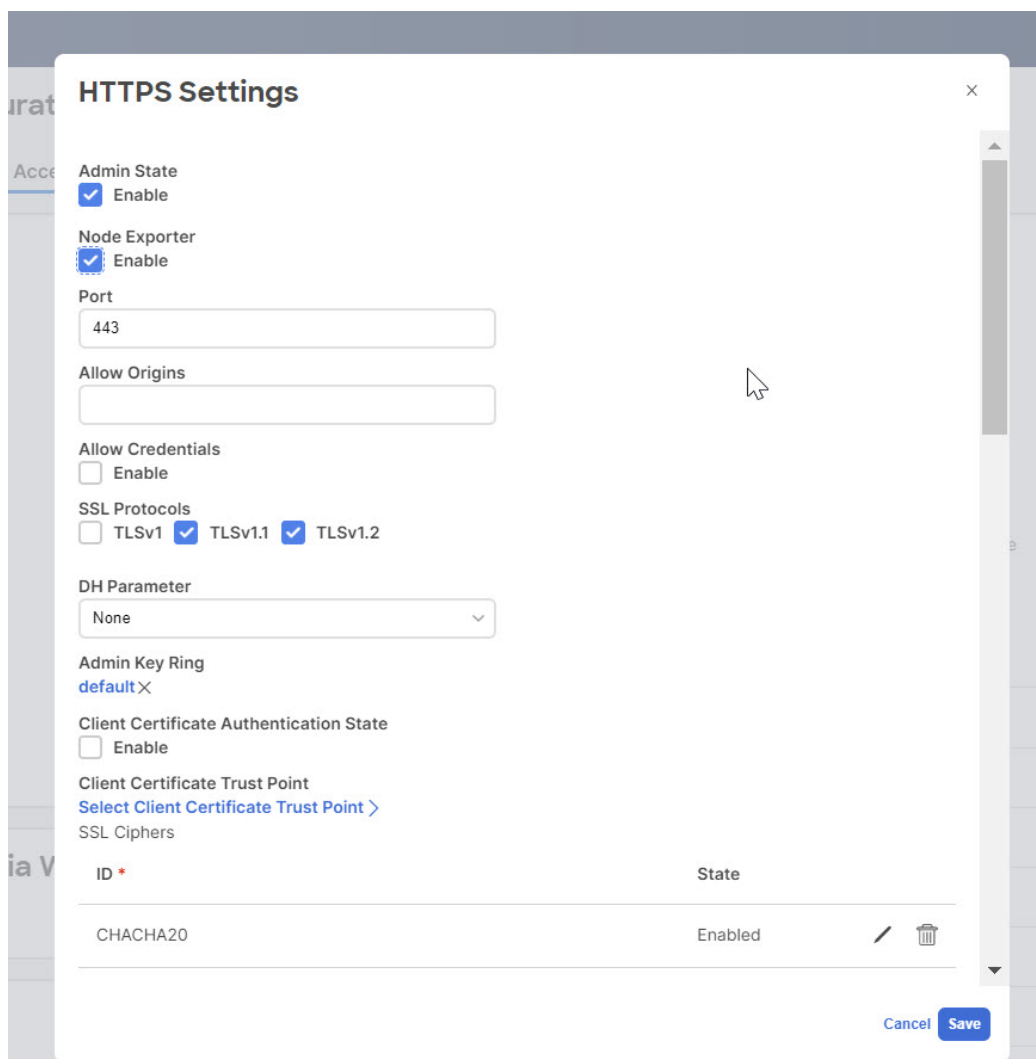


- **有効化 (Enabled) :** Prometheus Node Exporter はすでに有効になっています。この場合、これらの手順を続行する必要はありません。
- **無効化 (Disabled) :** Prometheus Node Exporter はまだ有効になっていません。Prometheus Node Exporter を有効にするには、次の手順に従います。

ステップ 3 [HTTPS] 領域の鉛筆アイコンをクリックして、HTTPS 設定を編集します。

[HTTPS 設定 (HTTPS Settings)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [ノード エクスポート (Node Exporter)] フィールドを見つけ、[有効化 (Enable)] をクリックします。



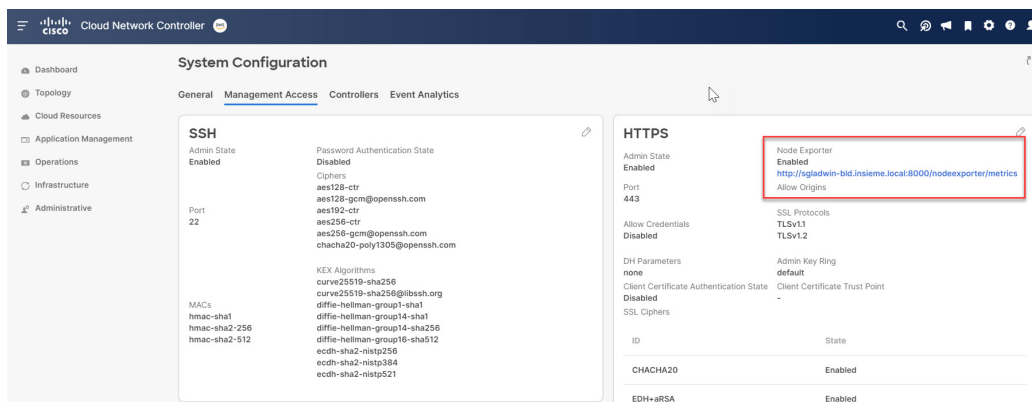
これらの設定を保存すると Web サービスが再起動され、要求への応答が再開されるまで少し時間がかかることを示す警告メッセージが表示されます。[OK] をクリックして、変更内容を確定します。

**ステップ 5** ウィンドウの左下の [保存 (Save)] をクリックします。

[システム構成/管理アクセス (System Configuration/Management Access)] ウィンドウに戻ります。Web サービスが再起動し、数秒後にオンラインに戻ります。

**ステップ 6** ウィンドウの右側の [HTTPS] 領域で、[ノード エクスポート (Node Exporter)] フィールドのエントリが [有効化 (Enabled)] に設定されていることを確認します。

これにより、Prometheus Node Exporter が有効になっていることが確認されます。



**ステップ 7** [ノード エクスポータ (Node Exporter)] 領域の [有効化 (Enabled)] テキストの下にあるリンクをクリックします。

ブラウザに別のタブが表示され、Cisco Cloud Network Controller が展開されている VM ホストのメトリックが表示されます。

## REST API を使用した VM ホスト メトリックスの監視

これらの手順では、REST API を使用して VM ホスト メトリックを監視するように Prometheus Node Exporter を有効にする方法について説明します。

**ステップ 1** Prometheus Node Exporter が有効になっているかどうかを確認するには、次の GET コールを送信します。

```
GET https://<cloud-network-controller-ip-address>/api/mo/uni/fabric/comm-default/https.xml
```

nodeExporter フィールドを見つけて、有効または無効に設定されているかどうかを確認します。

**ステップ 2** VM ホスト メトリックを監視するには、次の投稿を送信して、Prometheus ノード エクスポータを有効にします。

```
POST https://<cloud-network-controller-ip-address>/api/mo/uni/fabric/comm-default/https.xml
```

```
<commHttps nodeExporter="enabled" />
```

メトリックスは、Cisco Cloud Network Controller が展開されている VM ホストに表示されます。

**ステップ 3** REST API を使用してメトリックを表示するには、次の GET コールを送信します。

```
GET https://<cloud-network-controller-ip-address>/nodeexporter/metrics
```

**ステップ 4** Prometheus ノード エクスポータを無効にするには、次の投稿を送信します。

```
POST https://<cloud-network-controller-ip-address>/api/mo/uni/fabric/comm-default/https.xml
```

```
<commHttps nodeExporter="disabled" />
```

## アプリケーション管理詳細の表示

ここでは、Cisco Cloud Network Controller GUI を使用してアプリケーション管理の詳細を表示する方法について説明します。アプリケーション管理の詳細には、特定のテナント、アプリケーションプロファイル、EPG、コントラクト、フィルタ、VRF、サービス、またはクラウドコンテキスト プロファイルの情報が含まれます。

**ステップ 1** [ナビゲーション (Navigation)] メニューで、[アプリケーション管理 (Application Management)] タブを選択します。

[アプリケーション管理 (Application Management)] タブを展開すると、サブタブ オプションのリストが表示されます。詳細については、「アプリケーション管理オプション」のテーブルを参照してください。

表 1: アプリケーション管理サブタブ

サブタブ名	説明
テナント	テナントをサマリー テーブルの行として表示します。
アプリケーション プロファイル	サマリー テーブルの行としてアプリケーション プロファイルを表示します。
EPG	EPG をサマリー テーブルの行として表示します。
契約	コントラクトをサマリー テーブルの行として表示します。
フィルタ (Filters)	サマリー テーブルの行としてフィルタを表示します。
VRF	サマリー テーブルの行として VRF を表示します。
サービス (Services)	次の 2 つのサブタブと情報が含まれています。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>デバイス</b> : サマリー テーブルの行としてデバイスを表示します。</li><li>• <b>サービス グラフ</b> : サービス グラフをサマリー テーブルの行として表示します。</li></ul>

サブタブ名	説明
クラウド コンテキスト プロファイル	クラウドコンテキストプロファイルをサマリーテーブルの行として表示します。

**ステップ 2** 表示する詳細のコンポーネントを表すタブをクリックします。

サマリーテーブルは、テーブルの行として表示されます。たとえば、[テナント (Tenants)] サブタブを選択した場合、テナントのリストがサマリーテーブルの行として表示されます。

[属性でフィルタ (Filter by Attributes)] バーをクリックすると、行をフィルタリングできます。属性、演算子、およびフィルタ値を選択します。たとえば、テナントに基づくフィルタリングの場合は、Tenant==T1 (T1 はテナントの名前) を選択します。

**ステップ 3** サマリー ペインを表示するために、表示する特定のコンポーネントを表す行をクリックします。

**ステップ 4** 詳細については、表示する特定のコンポーネントを表すサマリーテーブルの行をダブルクリックします。

新しいダイアログ ボックスが、次のタブのいずれかと共に作業ペインの上に表示されます。

(注) 表示されるタブは、コンポーネントと構成が異なるように見えます。

- **概要 (Overview)** : クラウドリソース、設定関係、およびコンポーネントの設定の概要を示します。
- **クラウドリソース** : このコンポーネントに関連するクラウドリソース情報を表示するサブタブのリストを含みます。
- **構成** — コンポーネントに関連する構成情報を表示する 1 つ以上のサブタブが含まれています。
- **統計** : 選択したサンプリング間隔と統計タイプに基づいて統計を表示できるようにします。[統計] タブは表示しているコンポーネントに応じたサブタブを含みます。
- **イベント分析** : 障害、イベント、監査ログを表示するサブタブのリストを含みます。

(注) 作業ウィンドウの上部に表示されるダイアログボックスの右上隅には、更新ボタンと[アクション (Actions)] ボタンの間に編集ボタンがあります。[編集 (Edit)] ボタンをクリックすると、選択したコンポーネントを編集できます。

## クラウドリソースの詳細の表示

ここでは、Cisco Cloud Network Controller GUI を使用してクラウドリソースの詳細を表示する方法について説明します。クラウドリソースの詳細には、特定のリージョン、アベイラビリティゾーン、VPC、ルータ、セキュリティグループ、エンドポイント、インスタンス、およびクラウドサービスに関する情報が含まれます。

**ステップ1** [ナビゲーション (Navigation)]メニューから、[クラウドリソース (Cloud Resources)]タブを選択します。

[クラウドリソース (Cloud Resources)]タブが展開すると、サブオプションオプションのリストが表示されます。詳細については、「Cloud Resource Options」の表を参照してください。

表 2:クラウドリソース サブタブ

サブタブ名	説明
[Regions]	リージョンをサマリーテーブルの行として表示します。
可用性ゾーン	サマリーテーブルの行としてアベイラビリティゾーンを表示します。
VPC	サマリー テーブルの行としてVPCを表示します。
Routers	ルータをサマリーテーブルの行として表示します。
セキュリティ グループ	サマリーテーブルの行としてセキュリティを表示します。
エンドポイント	エンドポイントをサマリーテーブルの行として表示します。
Instances	インスタンスをサマリーテーブルの行として表示します。
クラウド サービス (Cloud Services)	次のサブタブを含みます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [クラウドサービス]タブ：クラウドサービスをサマリー テーブルの行として表示します。</li> <li>• [ターゲットグループ]タブ：ターゲットグループをサマリーテーブルの行として表示します。</li> </ul>

**ステップ2** 表示する詳細のコンポーネントを表すタブをクリックします。

サマリーテーブルは、テーブルの行として表示されます。たとえば、[エンドポイント (Endpoints)]サブタブを選択した場合、エンドポイントのリストがサマリー テーブルの行として表示されます。

[属性によるフィルタ (Filter by attributes)]バーをクリックすると、ドロップダウンメニューから属性を選択して行をフィルタリングできます。ドロップダウンメニューに表示される属性は、選択したサブタブによって異なります。

**ステップ3** サマリー ペインを表示するために、表示する特定のコンポーネントを表す行をクリックします。

**ステップ4** 詳細については、表示する特定のコンポーネントを表すサマリーテーブルの行をダブルクリックします。

新しいダイアログボックスが、次のタブのいずれかと共に作業ペインの上に表示されます。

(注) 表示されるタブは、コンポーネントと構成が異なるように見えます。

- **概要 (Overview)** : クラウドリソース、設定関係、およびコンポーネントの設定の概要を示します。
- **クラウドリソース** : このコンポーネントに関連するクラウドリソース情報を表示するサブタブのリストを含みます。
- **アプリケーション管理** : コンポーネントに関係する ACI 関連情報を表示するサブタブのリストを含みます。
- **統計** : 選択したサンプリング間隔と統計タイプに基づいて統計を表示できるようにします。[統計] タブは表示しているコンポーネントに応じたサブタブを含みます。
- **イベント分析** : 障害、イベント、監査ログを表示するサブタブのリストを含みます。

## 操作の詳細の表示

ここでは、Cisco Cloud Network Controller GUI を使用して操作の詳細を表示する方法について説明します。操作の詳細には、特定の障害、イベント、監査ログ、アクティブセッション、バックアップおよび復元ポリシー、テクニカルサポートポリシー、ファームウェア管理、スケジューラポリシー、およびリモートロケーションの情報が含まれます。

ステップ1 [ナビゲーション (Navigation)] メニューから [操作 (Operations)] タブを選択します。

[操作 (Operations)] タブが展開すると、サブタブ オプションのリストが表示されます。詳細については「操作オプション」の表を参照してください。

表 3: [操作 (Operations)] サブタブ

サブタブ名	説明
イベント分析	次のサブタブを含みます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [障害 (Faults)] タブ : サマリー テーブルの行として障害を表示します。</li> <li>• [イベント (Events)] タブ : イベントをサマリー テーブルの行として表示します。</li> <li>• [監査ログ (Audit Logs)] タブ : 監査ログをサマリー テーブルの行として表示します。</li> </ul>
アクティブセッション	サマリー テーブルの行として、アクティブなユーザーのリストを表示します。



サブタブ名	説明
バックアップと復元	<p>次のサブタブを含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[バックアップ (Backups)]</b> タブ：バックアップをサマリーテーブルの行として表示します。</li> <li>• <b>[バックアップ ポリシー (Backup Policies)]</b> タブ：バックアップ ポリシーをサマリーテーブルの行として表示します。</li> <li>• <b>[ジョブ ステータス (Job Status)]</b> タブ：ジョブのステータスをサマリーテーブルの行として表示します。</li> <li>• <b>[イベント分析 (Event Analytics)]</b> タブ：次のサブタブが含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[障害 (Faults)]</b> タブ：サマリーテーブルの行として障害を表示します。</li> <li>• <b>[イベント (Events)]</b> タブ：イベントをサマリーテーブルの行として表示します。</li> <li>• <b>[監査ログ (Audit Logs)]</b> タブ：監査ログをサマリーテーブルの行として表示します。</li> </ul> </li> </ul>
<b>[Tech Support]</b>	<p>次のサブタブを含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[Tech Support]</b> タブ：テクニカルサポート ポリシーをサマリーテーブルの行として表示します。</li> <li>• <b>[コア ログ (Core Logs)]</b> タブ：コア ログをサマリーテーブルの行として表示します。</li> <li>• <b>[機能ごとのコンテナ]</b> タブ - 機能ごとのコンテナをサマリーテーブルの行として表示します。</li> </ul>

サブタブ名	説明
<b>Firmware Management</b>	次のサブタブを含みます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[一般]</b> タブ：一般的なファームウェア管理情報を表示します。</li> <li>• <b>[イメージ (Images)]</b> タブ：イメージのリストを表示します。</li> <li>• <b>[イベント分析 (Event Analytics)]</b> タブ：次のサブタブが含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[障害 (Faults)]</b> タブ：サマリー テーブルの行として障害を表示します。</li> <li>• <b>[イベント (Events)]</b> タブ：イベントをサマリー テーブルの行として表示します。</li> <li>• <b>[監査ログ (Audit Logs)]</b> タブ：監査ログをサマリー テーブルの行として表示します。</li> </ul> </li> </ul>
スケジューラ	スケジューラ ポリシーをサマリー テーブルの行として表示します。
リモート ロケーション	リモート ロケーションをサマリー テーブルの行として表示します。

**ステップ 2** 表示するコンポーネントを表すタブをクリックします。

サマリー テーブルは、テーブルの行として表示されます。たとえば、**[アクティブセッション (Active Sessions)]** サブタブを選択した場合、アクティブセッションのリストがサマリー テーブルの行として表示されます。

**[属性でフィルタ (Filter by Attributes)]** バーをクリックすると、行をフィルタリングできます。属性、演算子、およびフィルタ値を選択します。たとえば、ユーザー名に基づいてフィルタリングするには、**username = user1** を選択します (user1は Cisco クラウド ネットワーク コントローラにログインしているユーザーです)。

**ステップ 3** サマリー ペインを表示するために、表示する特定のコンポーネントを表す行をクリックします。

**ステップ 4** 詳細については、表示する特定の項目を表すサマリー テーブルの行をダブルクリックします。

新しいダイアログボックスがサマリー テーブルから選択する項目の追加情報を表示する **作業** ペインの上に表示されます。

## インフラストラクチャの詳細の表示

ここでは、Cisco Cloud Network Controller GUI を使用してインフラストラクチャの詳細を表示する方法について説明します。インフラストラクチャの詳細には、システム設定、リージョン間接続、および外部接続に関する情報が含まれます。

**ステップ 1** [ナビゲーション (Navigation)] メニューから [インフラストラクチャ (Infrastructure)] タブを選択します。

[インフラストラクチャ (Infrastructure)] タブが展開すると、サブタブ オプションのリストが表示されます。詳細については、「インフラストラクチャ オプション」の表を参照してください。

表 4: インフラストラクチャ サブタブ

サブタブ名	説明
システム設定	一般的なシステム設定情報、管理アクセス情報、コントローラ、およびイベント分析を表示します。
リージョン間接続	リージョン間接続ビューおよび各リージョンの追加ペインを含むマップを1つのペインに表示します。
サイト間接続	サイト間接続ビューおよび各リージョンの追加ペインを含むマップを1つのペインに表示します。

**ステップ 2** 表示する詳細を含むコンポーネントを表すタブをクリックします。

## 管理の詳細の表示

ここでは、Cisco Cloud Network Controller GUI を使用して管理の詳細を表示する方法について説明します。管理の詳細には、認証、セキュリティ、ユーザ、およびスマートライセンスに関する情報が含まれます。

**ステップ 1** [ナビゲーション (Navigation)] メニューから [管理 (Administrative)] タブを選択します。

[管理 (Administrative)] タブが展開すると、サブタブ オプションのリストが表示されます。詳細については「Administrative Options」の表を参照してください。

表 5: 管理サブタブ

サブタブ名	説明
Authentication	<p>以下の情報を含む [認証デフォルト設定 (Authentication Default Settings) ]、[ログインドメイン (Login Domains) ]、[プロバイダー (Providers) ] サブタブが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [認証デフォルト設定 (Authentication Default Settings) ] タブ：設定情報が表示されます。</li> <li>• [ログインドメイン (Login Domains) ] タブ：ログインドメインをサマリーテーブルの行として表示します。</li> <li>• [プロバイダー (Providers) ] タブ：プロバイダーをサマリーテーブルの行として表示します。</li> <li>• [イベント分析 (Event Analytics) ] タブ：[障害 (Faults) ]、[イベント (Events) ]、および[監査ログ (Audit Logs) ] サブタブを表示します。各サブタブには、対応する情報が行としてサマリーテーブルに表示されます。</li> </ul>
セキュリティ	<p>次のサブタブのリストが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [セキュリティ デフォルト設定 (Security Default Settings) ] タブ：デフォルトのセキュリティ設定情報を表示できます。</li> <li>• [セキュリティ ドメイン (Security Domains) ] タブ：サマリーテーブルにセキュリティドメイン情報を表示できます。</li> <li>• [ロール (Roles) ] タブ：ロール情報をサマリーテーブルに表示できます。</li> <li>• [RBAC ルール (RBAC Rules) ] タブ：サマリーテーブルにRBACルール情報を表示できます。</li> <li>• [証明書権限 (Certificate Authorities) ] タブ：サマリーテーブルの認証局情報を表示できます。</li> <li>• [キー リング (Key Rings) ] タブ：キーリング情報をサマリーテーブルに表示できます。</li> </ul>

サブタブ名	説明
Users	次のサブタブを含みます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ローカル (Local) ] タブ : ローカル ユーザーをサマリー テーブルの行として表示します。</li> <li>• [リモート (Remote) ] タブ : リモートユーザーをサマリー テーブルの行として表示します。</li> </ul>
スマート ライセンス	次のサブタブを含みます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [一般 (General) ] タブ : ライセンスをサマリー テーブルの行として表示します。</li> <li>• [障害 (Faults) ] タブ : 障害をサマリー テーブルの行として表示します。</li> </ul>

**ステップ 2** 表示するコンポーネントを表すタブをクリックします。

一部のオプションでは、サマリーテーブルに項目がテーブル内の行として表示されます (たとえば、[ユーザー (Users) ] タブを選択した場合、ユーザーのリストはサマリー テーブルに行として表示されます)。サマリー ペインを表示するために、表示する特定のコンポーネントを表す行をクリックします。詳細を表示するには、表示する特定の項目を表すサマリー テーブルの行をダブルクリックします。作業ウィンドウに新しいダイアログボックスが表示され、サマリー テーブルから選択した項目に関する追加情報が表示されます。

(注) [属性でフィルタ (Filter by Attributes) ] バーで属性を入力すると、行をフィルタリングできます。

## Cisco Cloud Network Controller GUI を使用したヘルス詳細の表示

ここでは、Cisco Cloud Network Controller GUI を使用して正常性の詳細を表示する方法について説明します。Cisco Cloud Network Controller GUI のクラウドリソース エリアで確認できるオブジェクトの正常性の詳細は、次のように表示できます。

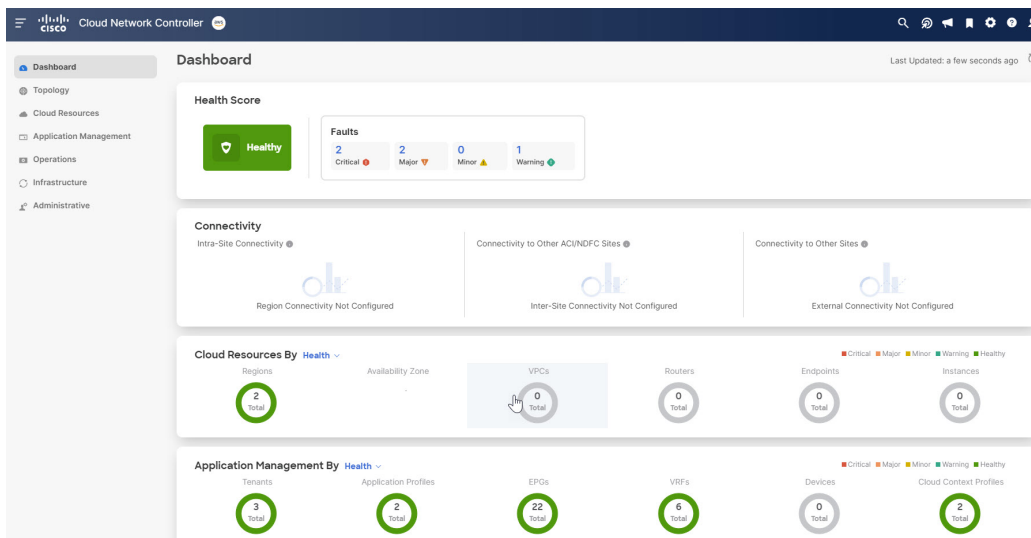
- [Regions]
- アベイラビリティゾーン (AWS クラウド サイトの場合)
- VPC (AWS クラウド サイト用)
- VNET (Azure クラウド サイト用)
- ルータ

## Cisco Cloud Network Controller GUI を使用したヘルス詳細の表示

- セキュリティ グループ
- エンドポイント
- Instances
- クラウド サービス

ステップ 1 [ナビゲーション (Navigation)] メニューから [ダッシュボード (Dashboard)] タブを選択します。

Cisco Cloud Network Controller の [ダッシュボード (Dashboard)] ビューを表示します。このウィンドウから、システムの全体的なヘルス ステータスを表示できます。



ステップ 2 [ダッシュボード (Dashboard)] ウィンドウの [障害サマリー] 領域内をクリックします。

[イベント分析 (Event Analytics)] ウィンドウが表示され、クリックした特定の障害レベルの詳細情報が表示されます。次の画面は、重大度がクリティカルでリストされている障害の [イベント分析 (Event Analytics)] ウィンドウの例を示しています。

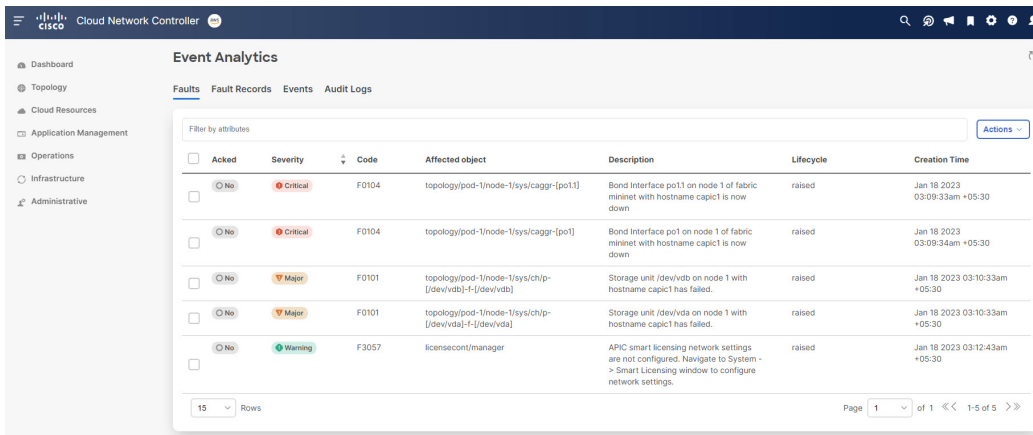
The screenshot shows the Event Analytics window with the "Faults" tab selected. A filter is applied: "Severity == Critical". The table below lists the critical faults.

Acked	Severity	Code	Affected object	Description	Lifecycle	Creation Time
<input type="checkbox"/>	Critical	F0104	topology/pod-1/node-1/sys/cagg-[po1.1]	Bond interface po11 on node 1 of fabric mininet with hostname ccapc1 is now down	raised	Jan 18 2023 03:09:33am +05:30
<input type="checkbox"/>	Critical	F0104	topology/pod-1/node-1/sys/cagg-[po1]	Bond interface po1 on node 1 of fabric mininet with hostname ccapc1 is now down	raised	Jan 18 2023 03:09:34am +05:30

At the bottom of the table, there is a "Rows" dropdown set to 15 and a pagination control showing "Page 1 of 1" and "1-2 of 2".

ステップ 3 重大度レベルの横にある [X] をクリックして、すべての障害のイベント分析情報を表示します。

[イベント分析 (Event Analytics)] ウィンドウに表示される情報が変更され、重大度がクリティカル、メジャー、および警告レベルのイベントが表示されます。

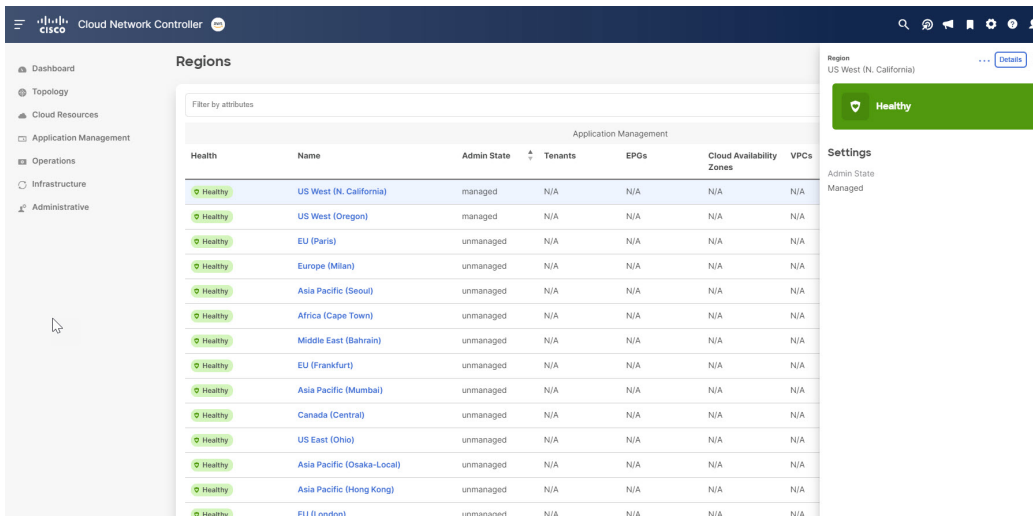


ステップ 4 [ナビゲーション (Navigation)] メニューから、[クラウドリソース (Cloud Resources)] タブを選択します。

[クラウドリソース (Cloud Resources)] タブが展開すると、サブオプションオプションのリストが表示されます。詳細については「Administrative Options」の表を参照してください。

ステップ 5 [クラウドリソース (Cloud Resources)] タブで任意の項目を選択すると、そのコンポーネントのヘルス情報が表示されます。

たとえば、次の図は、[クラウドリソース (Cloud Resources)] > [リージョン (Regions)] をクリックしたときに表示される可能性のあるヘルス情報を示しているため、特定のリージョンを選択します。







## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。